



安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ポルトガードPGクリーナー

会社名 : 株式会社セントラルコンクリート

住所 : 東京都港区北青山2-7-26-805

電話番号 : 03-5410-2580

緊急連絡先 : 03-5410-2580

FAX番号 : 03-5410-2588

担当部門 : 技術部

推奨用途及び使用上の制限 : コンクリートおよびセメント二次製品等の特殊洗浄

作成日 : 平成30年11月1日

改定日 :

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類 : 分類対象外

可燃性・引火性ガス : 分類対象外

可燃性・引火性エアゾール : 分類対象外

支燃性・酸化性ガス : 分類対象外

高圧ガス : 分類対象外

引火性液体 : 区分外

可燃性固体 : 分類対象外

自己反応性化学品 : 分類対象外

自然発火性液体 : 分類対象外

自然発火性固体 : 分類対象外

自己発熱性化学品 : 分類対象外

水反応可燃性化学品 : 分類対象外

酸化性液体 : 分類対象外

酸化性固体 : 分類対象外

有機過酸化物 : 分類対象外

金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外

急性毒性(経皮) : 分類できない

急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない

急性毒性(吸入:ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 区分1A

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) : 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 分類できない

水生環境慢性有害性 : 分類できない

シンボル



注意喚起語
危険

危険有害性情報

- ・重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

注意書き

安全対策

- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- ・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
- ・ミストを吸入しないこと。

応急措置

- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- ・皮膚(または髪)に付着した場合：汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- ・飲み込んだ場合：無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、大量の水を飲ませ、医師の手当てを受ける。意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

保管

- ・直射日光、高温を避け、容器を密閉して保管すること。

廃棄

- ・内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別 : 混合物

組成・成分 :

化学名	含有%	CAS No.	官報公示整理番号
クエン酸水溶液	90~99	非開示	化審法-既存
酢酸	1%以下	64-19-7	(2)-688
その他添加剤	残	非開示	化審法-既存

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
目の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、大量の水を飲ませ、医師の手当てを受ける。意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
- 使ってはならない消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。風上から作業をし、風下の人を退避させる。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。
- 回収、中和 : 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となる物を速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱いは換気の良い場所で行う。
目、皮膚および衣類に触れないよう適切な保護具を着用する。
- 安全取り扱い注意事項 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
ミストを吸入しないこと。
取り扱った後の手、顔などは十分に洗う。
容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、または引きずるなどの粗暴な取扱いをしない。

保管

- 技術的対策 : 直射日光、高温を避け、容器を密閉して保管する。
- 容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

- 日本産業衛生学会
(2015年度版) : 設定されていない
- ACGIH
(2015年度版) : 設定されていない

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
全体換気装置または局所排気装置を設ける。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防じんマスク
- 手の保護具 : 溶剤用保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡またはゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具 : 化学用エプロンまたは保護前掛け
安全靴または保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 透明液体
- 臭い : 芳香臭
- pH : 0~2
- 融点 : 0℃以下
- 沸点 : 100℃以上
- 引火点 : データなし (引火しない)
- 爆発特性 : データなし
- 密度 : 1.02~1.07g/cm³ (25℃)
- 溶解度 : 水に易溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の手取り扱いは安定である。
- 危険有害反応可能性 : 通常の手取り扱いは安定である。
- 避けるべき条件 : 通常の手取り扱いは安定である。
- 混触危険物質 : 知見なし
- 危険有害分解生成物 : 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性 経口	: ラットLD ₅₀ >5,000mg/kg	(区分外)
経皮	: データが不十分であり分類できない。	(区分外)
吸入(ガス)	: GHS定義による液体である。	(分類対象外)
吸入(蒸気)	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
吸入(ミスト)	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
皮膚腐食性・刺激性	: 製品の判定基準; 区分1A	(区分1A)
眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性	: 製品の判定基準; 区分1	(区分1)
呼吸器感作性	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
皮膚感作性	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
生殖細胞変異原性	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
発がん性	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
生殖毒性	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
吸引性呼吸器有害性	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性		
水生環境急性有害性	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
水生環境慢性有害性	: データが不十分であり分類できない。	(分類できない)
残留性/分解性	: 知見なし	
生体蓄積性	: 知見なし	
土壌中の移動性	: 知見なし	
オゾン層への有害性	: 分類できない(モントリオール議定書の付属書に列記されていない)	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。
汚染容器・包装	: 内容物を完全に除去した後に処理を委託する。 洗浄に用いた廃液は残余廃棄物と同様の処理を行う。



14. 輸送上の注意

国際規制

- 国連分類 : 該当しない
国連番号 : 該当しない
品名 (国連輸送名) : 該当しない
容器等級 : 適用法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

国内規制 :

輸送の特定の安全対策及び条件

- : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
直射日光、高温を避ける。
-

15. 適用法令

- 化管法 (PRTR法) : 該当しない
消防法 : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
労働安全衛生法 : 該当しない
-

16. その他の情報

引用文献 :

- (1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内への表示及び安全データシート (SDS) -JIS Z 7253:2012
- (2) 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂5版 化学工業日報社
- (3) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
- (4) 安全衛生情報センター GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報
- (5) ラベル・製品安全データシート作成実務必携GHS対応国内版 化学工業日報社

記載内容の取り扱い

本安全データシートは、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。
